

# またふくかぜってなまに??



- おたふくかぜは流行性耳下腺炎ひょうこうせいじげせんえんとも言われ、ムンプス(おたふくかぜ)ウイルスが咳やくしゃみなどで空気中に飛び散り感染します。
- 発熱、頭痛、倦怠感などに続いて耳の下が腫れる病気です。
- 治療法はなく、解熱剤や消炎鎮痛剤を使用し、自然になおるのを待つか、方法はありません。
- 耳の下の腫れがなくなるまでは、登園登校はできません。

## またふくかぜにかかると?

- かかった場合、無菌性髄膜炎、ムンプス髄髄、睾丸炎、卵巣炎、肺炎などの合併症が起こることがあります。
- 無菌性髄膜炎は約10人に1人、ムンプス髄髄は約1000人に1人に起こると言われています。



## 1歳のお誕生日を過ぎたら予防接種ができます!

- 発症年齢は4～5歳が一番多いので、それ以前に予防接種を受けましょう。
- ワクチンは任意接種で、約90%の人に免疫ができ、感染を予防できます。

## 予防接種の副反応は?

- 主な副反応は一過性の耳の下の腫れで、2～3%の人に起こると言われています。
- 接種後2～4週に無菌性髄膜炎が数千人に1人程度認められます。

## ムンプス髄髄むんぷすずいずいとは?

- ムンプスウイルスが音を感じる神経に感染して、片耳(まれに両耳)が聞こえなくなることです。
- 熱や腫れの程度とは無関係に発症します。
- なおらないことが多く、重い聴力障害を残してしまいます。

監修: 北里大学 北里生命科学研究所 ウイルス感染制御学研究室 教授 中山 勉夫

詳しくは当院にお問い合わせください。



第一三共株式会社